

李秀賢氏記念韓国青少年訪日研修

韓国で日本語を学習し、日本の社会文化に関心を持つ韓国の高校生を日本に招へいし、日本語および日本文化・社会への理解を深め、同世代の日本の若者と交流する機会を提供するプログラムです。本研修は、去る 2001 年に東京 J R 新大久保駅で線路に落ちた乗客を助けるために事故死した韓国人留学生：李秀賢（イ・スヒョン）氏の勇気ある行動を顕彰する目的で行われています。

◆ 研修期間

2 週間（2021 年度：1 月）

◆ 対象者

日本語を履修している韓国の高校生

※本研修では、各学校長からの推薦をもとに、国際交流基金ソウル日本文化センター、在済州日本国総領事館、（社）韓日協会、（社）釜山韓日文化交流協会、高麗大学校世宗キャンパスおよび日語日文学科が参加者を選考しています。

※2020 年度および 2021 年度はオンラインにて実施。

◆ 研修内容

1. 日本語

これまで学んだ日本語を使って、日本文化・社会、日本語への理解を深め、相互交流に役立つ日本語を学ぶ。

日本の地理・京都ガイド、関西弁ガイド、日本の高校生活、ホームビジットガイド、日本語のオノマトペ、発表準備、日本での体験発表会など

2. 交流

(1) 日本の高校（大阪府立佐野高等学校）を訪問し、日本人高校生との交流を行うことで同世代の日本人の価値観や文化を学ぶ。

(2) 日本の大学（立命館大学国際関係学部）に在学している韓国人留学生や日本人大学生と交流を行うことで、将来、自分たちが日韓の架け橋となるためのヒントを得る。

3. 文化・社会体験

(1) ホームビジット：大阪府立佐野高等学校の生徒のご家庭を訪問し、日本の生活を体験する。

(2) 文化体験：日本の伝統文化を体験する。

(3) 研修旅行：東京、京都での研修を通して、日本の多様性を学ぶ。